

どうもね！が響き合うまち 石巻



地域サロン・元倉いきいき会（住吉地区）

地域の助け合い活動 地域資源活用例

このまちの課題と向き合い人と人がつながる仕組み。

- 支え合う地域づくりの現場から
- 地域の魅力！じいばあい一っす！
- 生活支援体制整備事業 Q&A

こねっととは…「こねる」と「ネットワーク」を組み合わせた造語で、地域が混ざり合い、つながりが生まれるようにとの想いが込められています。

こねると

Vol.4

石巻市生活支援体制整備事業

支え合う地域づくりの現場から

地域での困りごとや地域課題を共有し、助け合いの仕組み作りで奮闘する“協議体の今”をお届けします。

山の手地区 第2層協議体 シェアやまのて



地域の良いことも困ったこともシェアできる（分け合える）地域を目指して話し合いを重ねています。新たに経験豊富な町内会長さんもメンバーに加わり、『今後こういう場がより大事になっていくよね。もっとたくさんの人に知ってもらいたい』との意見から、今年度はチラシを掲示、回覧することとなっています。また、「高齢者にいつまでも元気でいてほしい」をテーマに地元の高校生と共同プロジェクトを進めています。打ち合わせを行っています。



担当
コーディネーター
杉浦 有紀

雄勝地区 第2層協議体 ささえあい会議



「高齢者施設や学校、地域で防災について学び合う」をテーマに話し合いを進めています。今年8月には、雄勝小中学校の避難訓練を見学し、それぞれの立場での気付きを共有しています。話し合いでは「お互いに協力出来る事がある。連携は必要」「災害時に生徒が高齢者を支える役割を持たせたいね」「避難には体力も必要。健康づくりも大切」等の意見が出ました。今後は行政区ごとの取り組みを共有し、地域全体で防災を通じた健康づくりや子どもたちの役割について話し合っていく予定です。



担当
コーディネーター
佐藤 文博

地域づくりに若い力を。

人と人とのつながりで、地域の防災へつなげよう。

じいばあいーっす！

高齢になってもみんなが助け合い一緒に暮らせる社会！
地域の魅力は、そこに住む人々の魅力でもあります。



町内会長、民生委員・児童委員を長く務めていた菅野さん。20年以上も老人クラブやグラウンドゴルフ愛好会の活動を続けており、日々忙しく過ごしています。
楽しく活動するために大切にしているのが「頑張ってくれた人に感謝の気持ちを伝えること。助かった。どうもね」と声を掛けると、お互いが嬉しい気持ちになります。みんなの居心地が良くなっていきます。
周囲からも頼りにされていて、『みんなの兄貴』とも言えるような懐の深さがある菅野さん。「家にこもっていないで、とにかく人と会って言葉を交わし、笑うことが大事なんだ」と思いを語ってくれました。

（担当）コーディネーター 西本健太郎



多才な趣味と技術をもった武山さん。生まれ育った北上の自然を守り、若い世代に伝えたいと常に思っています。
元自衛官で震災以降は行政委員、ボランティア受け入れ、地域のイベント協力、学校への授業協力など、精力的に携わり、現在も宮城県自然保護員としての活動の傍ら、小学校の校外学習の先生として1年生に北上の自然の素晴らしさを伝えていきます。子どもたちからも「たおたよりを広げながら「おさじいと呼ばれるんだよ」と微笑んでいました。武山さんの経験や知識、北上への想いが子どもたちの学びや地域への愛着につながっています。

（担当）コーディネーター 佐藤文博

元気の秘訣は “人と会うこと” “笑うこと。”

北上の自然の豊かさ素晴らしさを伝えたい。

地域の助け合い活動 地域資源活用例

このまちの課題と向き合い人と人がつながる仕組み。

移動販売

旬魚旬味いしもり

萩浜、牡鹿地区で地域を回る移動販売を行っています。車が止まると出て来る常連さんたちは「地区には商店がないので、こうして来てくれると助かる」、移動販売を行っている石森さんは「お客さんが待っていてくれるとやりがいになる」と話します。置いていないものは代理で購入し翌週に届けるなど、ひとりひとりの要望にも応えてくれます。
こうした生活に密着したサービスが地域での暮らしを支えています。



移動支援

山下南カーシェア会

地域の高齢者からの「バス停に行くのが大変」という声から生まれた活動です。
会員数は100名を超え、ボランティアドライバー、連絡係が支えながら、通院や買い物だけでなく、美容院やお墓参り、友人宅への送迎も行っていきます。
利用者からの「ありがたい。助かったや〜」「気をつけてね」といった声に、この活動が生活に欠かせないものになっているとドライバーの方は実感しているそうです。顔見知り同士が支え合う、住民主体の移動手段の一つとして地域での暮らしを支えています。



物を販売する事、それだけじゃない役割。

有償ボランティア

みやぎ生活協同組合 「こ〜ぶくらしの助け合いの会」

「少し手助けがあれば自立した生活ができるのに」こんな声から始まった会員同士の助け合い・支え合い活動で、利用したい会員、活動できる会員が共に会を構成し、有償で家事支援などを行っています。掃除・通院介助の要望が多く、手伝って欲しい内容や理由も人それぞれです。時には利用会員と活動会員の年齢が逆転することもありますが「誰かの力になれるのは嬉しい」「明日は自分が利用する側かもね」と助け合い活動が行われています。



お知らせください！

みなさんの地域の身近な助け合いの活動をお知らせください。生活支援コーディネーターがお邪魔します！

子どもによる地域支援

青葉中学校お助け隊

「自分たちができることで、誰かを笑顔にしたい」という想いから、高齢者に年賀状を届ける活動や、コロナ禍に高齢者施設の駐車場から利用者の方に演奏を届けました。
演奏会では、施設の利用者の方がサンタの格好をして待っていたり、身を乗り出して聞いてくれたり楽しみにしていた様子がうかがえました。
高齢になり、外出の機会が減ったり、施設に入って地域との関わりが希薄になったりする方が多い中で、社会参加（地域とのつながり）のきっかけとなっています。



地元での活動は、社会貢献の第一歩。

「生活支援」・「社会参加」とは？

教えて！
コーディネーター

Q 生活支援体制整備事業って？

A 平成27年に改正された介護保険の中で位置付けられた“**高齢者の生活を支える体制づくり**”を進める事業です。石巻市では、この事業を通し『生活支援の整備』と『社会参加の促進』を進めていくこととしています。



第1層生活支援
コーディネーター
小松沙織

Q 生活支援とは？

A 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくためには、介護サービスの利用だけでなく、見守り、外出支援、買い物・調理・掃除等の家事支援等を必要とする場面がさまざまにあります。こうした**暮らしの支援のことを「生活支援」**といいます。



見守り活動（住吉地区）

Q 社会参加とは？

A 就労だけではなく、サロン活動やボランティア活動、町内会などの自治活動、趣味や習いごとなどの社会活動への参加も指します。高齢者の孤立や孤独を防ぐためにも、『人と人が関わり合う機会』が必要とされており、さらには、社会参加を通じて役割をもつこと、心の豊かさや生きがいを得られることで、自身の**健康、介護予防**にもつながるといわれています。

市内には、様々な集いの場（お茶会・サークル活動等）があります。現在、社協で把握している市内の集いの場は**412カ所**あります。

※集いの場の詳細については、市で発行している『いのまき版シニアガイドブック』や、『社協だより・各支所からのお知らせ』に掲載しておりますのでそちらをご覧ください。



サロン活動（河北地区）

地域活動や暮らしに関する悩みごとなど、気軽に各地区担当のコーディネーターにご相談ください。

お問い合わせ

社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会

TEL 0225-24-8509

地域福祉課

〒986-0825 石巻市穀町15番2号
石巻市ささえあいセンター 3階

FAX 0225-96-5223

E-mail: csc@ishinomaki-shakyo.or.jp